

米研究機関がBabel Street Insightsを使い、ハマスの戦闘部隊配置を分析した方法

BABEL STREET INSIGHTS

2023年10月初旬、ガザ地区とイスラエル南部付近で、パレスチナのイスラム教スンニ派組織ハマス（米国が指定する外国テロ組織、FTO）とイスラエルとの武力衝突が勃発しました。紛争の発端となったハマスの奇襲攻撃により、1,200人以上のイスラエル人と外国人（少なくとも35人の在イスラエル米国民を含む）が死亡し、ハマスとその他のグループは、10月7日に253人の人質も拉致しました*。武力紛争は長引き、双方に多大な死傷者を出しました。

この武力紛争の勃発後、米国を拠点とする戦争研究所（ISW）は、戦争に関する詳細な情報を表に出すことを目的として継続的に報告書を公表しました。ISWは、信頼できるリサーチ、信用ある分析、革新的な教育を通じて、軍事問題に対する情報に基づいた理解を深めることを目指しています。そして、米国の戦略的目標を達成するために、軍事作戦を遂行し、新たな脅威に対応する国家としての能力の向上に取り組んでいます。ISWは超党派の非営利公共政策研究機関です。

Babel Streetは重要なインサイトを提供

ISWは、2023年初頭にBabel Street Insightsの利用を開始しました。Babel Street Insightsは、世界中で公開されている膨大な数のデータ情報源から、独自のインサイトを多言語で幅広く引き出すことができます。2023年12月、ハマスとイスラエルの紛争が収まる気配もなくエスカレートする中、ISWはハマスの軍事組織であるイッズッディーン・アル=カッサム旅団の戦闘部隊配置（Order of battle）に関するオープンソースを基にした報告書を作成しようとしていました。「Order of battle」とは、定義された地理的領域にわたる軍隊（軍隊、船舶、航空機、大砲など）の追跡を説明するために使用される軍事用語です。

注目のイッズッディーン・アル=カッサム旅団には、ハマスの5つの旅団とその下部大隊が含まれています。ISWはまた、軍事部門とハマスがアル=

カッサム旅団をどのように構成しているかについての簡単な説明も掲載しました。この戦闘部隊配置は、ハマスとイスラエル国防軍（IDF）の両方の報告を利用し、完全に公平な実態を確立することを目的としています。

ISWは、2023年12月時点のハマスの残存戦力を評価することは、停戦協議がより本格的になるにつれ、重要な知見を提供することになると認識していました。Babel Street Insightsの機能を使い、主執筆者のブライアン・カーターと彼のチームは、これらの重要な旅団の全体像と現状報告書を作成しました。

このレポートには、ハマスの各部隊の強さの評価も含まれており、最終版の内容がさらなる深みと価値を増すこととなりました。

パズルを完成させる

効果的な報告書と包括的な分析を作成するため、ISWチームはBabel Street Insightsを活用して、ガザ地区内の指揮官（多くはすでに死亡）とハマスの部隊を特定しました。詳細な部隊の評価を加えるにあたり、IDFがハマスとは異なる名称を使用しているといった課題もありました。以下は、チームが قائد كتيبة بيت لاهيا [Beit Lahia Battalion の司令官] 和 القسم [Al-Qassam (ハマスの軍事組織の名称)] を検索したときに返されたBabel Street Insightsの文書の一例です。



The screenshot shows a document interface for 'Ibn Al-Qassam'. It includes a search bar with 'ENGLISH' and 'ARABIC' options, and a 'SEARCHED TERMS' field showing '0/0'. The main content area features a portrait of a man in a dark cap, with two circular logos overlaid on the left: one with a green and red emblem and another with Arabic text 'الأقصى طوفان'. To the right of the portrait, the text reads: 'By ابن القسام', '@samera_alsrmy: Martyr Qassam Commander Wael Rajab Abu Suhaib, Commander of the Beit Lahia Battalion in the Qassam Brigades.. 🇵🇸 #Al-Aqsa_Knights_Team https://t.co/dpqqdxSUy0'. Below the portrait is a 'Document Details' section with fields for 'FULL SOURCE URL' and 'MENTIONED URL(S)', both of which are redacted with blue bars.

このデータは、この特定の司令官に関するIDFの報告を立証するのに役立ちました。（南部の）ラファ県とハーン・ユニス県におけるハマスの戦闘部隊配置の構築は、北部よりもはるかに困難であることが判明しました。IDFはすでに、多くのハマスの大隊と司令官に関する情報を公表しており、ISWチームがアラビア語の情報源から探す手がかり（名前や役割など）を与えていたためです。南部地域に関しては、相互参照できるようなIDFの情報が入手しにくかったのです。

ISWは、「東部大隊」のような地理的な大隊名をキーワードとして使い始めました。これは効果的で、相手にとって致命的な打撃となりました。例えば : **من مسجد أبي بكر برفح قائد الكتيبة الشرقية في رفح** / **اند القسامي المجاهد/ محمد جبريل الشمال** [カッサム旅団所属のジハード指導者、ラファのアブ・バクル・モスク出身のモハンマド・ジブリール・アル=シャマリ、ラファ東部大隊の司令官]

このデータから、研究者たちはラファに東部大隊があったことを示唆し、司令官の名前の候補を得ました。残念ながら、この指揮官は戦争開始前に死亡していたのですが、彼の存在と部隊の存在は、ラファにおけるハマスの戦闘部隊配置を理解する上で極めて重要な手がかりとなりました。

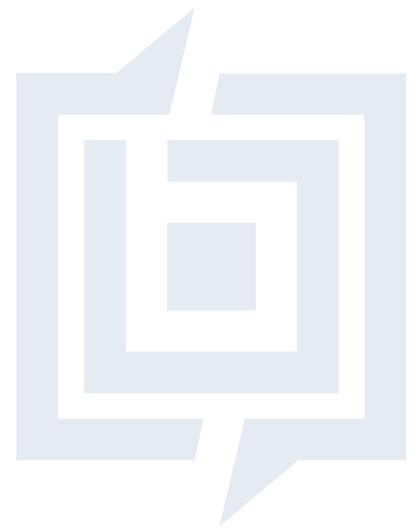


「Babel Street Insightsのおかげで、私たちのチームが極めて詳細なレポートを作成することができました。ハマスの公式ウェブサイト上の重要な投稿のアーカイブを見つける支援に始まり、通常の方法では見つけるのが極めて困難な重要なSNSアカウントへのアクセスまで、Babel Streetは、最終報告書の全体像を形成するのに役立つ、入手困難な情報の数々を見事に提示してくれた」とレポートの筆頭筆者であるブライアン・カーターが述べました。

このプロジェクトの最終報告書は、ハマスとイスラエルの紛争に焦点を当てたシリーズの一環として、ISWのウェブサイトを通じて公開されました。

「現在閉鎖中のウェブサイト（アル・カセム＝ハマスの公式サイトなど）のアーカイブ文書にアクセスできる機能は非常に重要でした。このBabel Streetの機能のおかげで、今回のプロジェクトをこれほどまでに優秀かつ完全なものとして完成させることができました」と述べました。

*議会調査局の報告書に基づく



Babel Street は、世界で最も高度なアイデンティティ・インテリジェンスとリスク管理を可能にする、信頼、実績のあるテクノロジーパートナーです。Babel Street Insights プラットフォームは、リスクと信頼のギャップを埋める高度な AI およびデータ分析ソリューションを提供します。

Babel Street は、言語を問わず他に類を見ない分析対応データ、能動的なリスク識別、360 度のインサイト、高速自動化、既存システムへのシームレスな統合を提供します。当社は、政府機関や企業組織が、重要なアイデンティティおよびリスク管理を戦略的な優位性に変換できるように支援します。

詳細については、babelstreet.jp をご覧ください。